ドローンや GIS を活用した自然災害等危機管理研修の開催について(お知らせ)

謹啓 ようやく秋の気配を感じる頃となりましたが、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。 このたび、地方自治体等行政職員を対象とした下記の危機管理研修を開催いたします。 ドローンや GIS の操作が初めての方も参加可能です。ご参加いただきますようご案内いたします。

謹白

記

- 1. 研修名:ドローン(UAV)やGIS(地理情報システム)を活用した自然災害等危機管理研修
- 2. 主 催: 岩手大学地域防災研究センター
- 3. 共催: 岩手県立大学防災復興支援センター、岩手県、陸前高田市
- 4. 日 程: 令和5年11月20日 (月曜)、12月21日 (木曜) いずれも午前10時~午後4時30分 ※いずれか1日のみの受講可能
- 5.場所:陸前高田グローバルキャンパス(ドローン研修)、 陸前高田市消防防災センター研修室(GIS研修)
- 6. 研修内容:

テーマ1「ドローン(UAV)を活用した防災対策」

ドローン(UAV)を活用することにより早期の被害把握、また事前の予防対策としてどのようなことが可能か事例紹介などを行う。また、実際にドローンを操作し、基礎的なしくみについて理解を深める。

於 陸前高田グローバルキャンパス (雨天時は同体育館)

11月20日(月)

10:00~12:00

・ドローン法規制ルール,事前登録,飛行計画申請等・避難訓練の活用事例(応用例)・防災への活用事例(応用例)・実習(午後)の概要説明

13:00~16:30

- ・離陸, 着陸, 基本操作
- ・飛行経路設定をした空撮実習(オートパイロット)

テーマ2「防災対策としてのGISの活用」

GIS (地理情報システム)を活用することにより、防災対策など行政の業務へどのようにつながるのか事例紹介を通して概説する。また、初歩的な GIS データの作成や読み込み作業などを通じて、GIS を用いた分析方法についても考えていく。的確な仕様書作成、業者から納入された内容のチェックが行えるようになるために、GIS の基礎的な知識・技術の習得を目標とする。

於 陸前高田市消防防災センター・研修室

12月21日(木)

10:00~12:00

- ・防災への GIS 活用事例、地形・ハザード関連
- ・防災への GIS 活用事例, 避難関連

13:00~16:30

- ・GISとは(ソフトウェア、座標系、投影法など)
- ・GIS 実習(基礎的操作, CSV からポイントデータの作成, ジオリファレンスなど, SHP(シェープ)ファイル, 地理院地図などの WMTS データの重ね合わせなど)
- 7. 受講対象者:岩手県内の市町村等地方自治体職員(ドローン、GIS 操作の経験を問いません)
- 8. 人数:一団体あたり $1\sim2$ 名(自前でドローンや ArcGIS Pro がインストールされた PC を持参できる団体は3名以上の参加も可。要事前相談)。なお、申込多数の場合は人数調整する場合があります。
- 9. 受講料:無料(ただし、研修に関連するアンケート調査に回答いただきます)
- 10. その他:

研修で使用するドローンや PC (いずれも共用となります) は基本的に研修開催者側で用意いたします。

- 11. 受講申込期間:令和5年10月10日(火)~10月31日(火)
- 12. 申込方法:別紙の研修受講申込書(Excel 形式)を次の連絡先へ送信してください。

岩手大学地域防災研究センター 危機管理研修担当

E-mail: bousai@iwate-u.ac.jp FAX: 019-621-6995

できるだけ E-mail でお申し込みください。

₩GIS

GIS とは「Geographic Information System (地理情報システム)」の略語で、電子地図上に情報を重ね、編集・検索・分析・管理などを行えるシステムです。GIS では、ベースとなる地図データの上にさまざまな情報をレイヤー状 (layer:層のこと)に重ねていきます。例えば、航空写真や地形図などの基盤地図の上に、位置情報を持つ防災施設、避難所、公園など様々な施設等のデータを重ね合わせて表示します。さらに、地図情報とその上に重なっている各種情報を関連付けることで、相関関係や傾向を可視化できることが GIS の特徴です。

*ArcGIS Pro

ArcGIS Pro は、Esri 社が開発、販売している地理情報システムのアプリケーションソフトウェア(統合プラットフォーム)です。GIS ソフトウェアには、QGIS、GRASS GIS、MANDARA、TNTMips などもありますが、ArcGIS Pro は機能性にも優れ、多くの大学や研究機関で使用されています。